



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第80号

発行 北海道幌延町議会
編集 議会報発行特別委員会
電話 01632-5-1111
FAX 01632-5-2971

第6回 定例議会

9月10日~11日

9月10日より定例会が行われ、行政報告、一般質問、平成25年度決算の認定、報告2件、同意2件、議案4件を審議の結果、原案どおり全てを可決し、閉会した。

おもな内容	第6回幌延町議会定例会	2
	地域の課題をとらえて—一般質問—	2~3
	平成25年度決算審査特別委員会	4
	常任委員会・町民と議員との懇談会	5
	常任委員会	6
	第7回幌延町議会臨時会・編集後記	7

地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



鷲見 悟

子ども・子育て支援と認定こども園について

質問 認定こども園として来年度からスタートするが、制度改訂の中で基本的な考え方の変更はないのか。

副町長 認定こども園の施設を利用する際に、給付制度が導入されたことが、現制度とは大きく変わった点だ。

質問 幌延子ども・子育て会議が設置されているが、どのような意見があるのか。

副町長 子どもの子育て支援が少ないとか、延長保育の実施、保育料の無料化や引下げ要望など、町に対していろいろな意見があった。

質問 今までの子育て支援事業の位置付けはどうなるのか。

副町長 保健センターで実施している遊びの広場や育児クラブなどは、来年度以降、認定こども園において実施する。

質問 町の財政的な面から、国の標準の50%引きで利用料を設定すると、今までと比較すると財政的負担はどのくらいになるか。

副町長 まだ具体的な試算はしていない。

質問 延長保育や、土曜日なども希望者には保育をすることになるかと、どのような体制になるのか。

町民課長 平成26年度の予算ベースでいくと、人件費で大体3千7百万円。保育所の管理費で3千万円など。合計8千万円くらいかかる。保育士をどうするかが大きな問題。

質問 問寒別保育所との連携や、利用料の設定などはどうなるのか。

副町長 現状と変わらない。子育て支援事業については、へき地保育所の職員体制や地域のニーズなどを考えて検討する。

質問 放課後児童クラブなどはどうなるのか。

副町長 その運営に影響はない。

質問 障害者自立支援法と